

第9回滋賀県国民健康保険運営協議会の概要

1. 日時 令和元年9月3日（火）午後2時から3時30分
2. 場所 滋賀県庁 北新館5階5-A会議室
3. 出席委員 鈴木委員、柴田委員、中野委員、西田長太郎委員、富永委員、小西委員、山口委員、諸頭委員、高岡委員、谷口委員、戸井委員、西田毅委員、寺村委員
4. 欠席委員 北村委員（会長）
5. 出席者 川崎健康医療福祉部長、伊香医療保険課長、課員
6. 会議の内容
会長が欠席のため、会長職務代行者（谷口委員）が議長となった。
事務局から、平成30年度 国民健康保険事業の状況および平成30年度 国民健康保険事業特別会計の決算状況等についての概要を説明し意見を徴した。

7. 主な御意見

平成30年度 国民健康保険事業の状況について

- 多賀町は、収納率や保健事業（特定健診、特定保健指導）が非常に優秀である。
- 過誤返戻事務において、国保連合会と共同で行い、事務の従事時間数が削減されたことは良いことだと思う。
- 重複頻回受診者・重複服薬者訪問指導事業は、単独で実施する方が効率が良
いところは、国保連合会と共同実施せず、単独で実施すべきと思う。
- 特定保健指導において、大津市と草津市の実施率の低いのが気になる。

平成30年度 国民健康保険事業特別会計の決算状況について

- 30年度の決算を踏まえ、令和2年度どのように納付金を算定するのか検討願う。

その他 保険者努力支援制度の結果

- 後発医薬品を促進していると思うが、市町間で格差が大きい。
- がん検診、歯科健診の評価が非常に低い。今後検討いただきたい。

全体をとおして

- 保健事業の特定健診の受診率向上については今後とも議論をされ、次期国保運営方針策定に向け事務局で十分検討いただきたい。